

平成29年度地方創生交付金事業の検証について

地方創生推進交付金

担当課	事業名	事業内容	成果	実績額 (H30.3.31)	重要業績評価指標 (KPI)	達成状況 (H30.3.31)	達成率 (H30.3.31)	外部有識者 からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針	
政策課	地域ブランド 発信事業	【魅力発信】 ・市民とともに作り上げた地域 ブランド「あぁ、あわら贅沢。」を イメージするコンテンツを掘り 起し発信することでシビックプライ ドの醸成を図る。	・あわらむすびprojectの展開。市 内の飲食店12店舗が参加して、 「あわらしいおむすび」を開発 商品化。 ・市内企業と協力して、贅沢リボ ン&シール、クリアファイル、パン フレットなどのツールを企画・製 作。市内外に配布することで、ブ ランドイメージの浸透を図った。 ・市役所1階ロビーに「あぁ、あわ ら贅沢。」をイメージした装飾を行 い浸透を図った。	18,090,840円	本市の認知度ラン キング(地域ブラン ド調査/ブランド総 合研究所)	750位	643位	-	総合戦略の KPI達成に 有効であっ た	引き続きブランドイメージの浸透を推進 するとともに、シビックプライドを醸成す る各種事業を企画・実行する。 ブランド専門部会を毎月開催し、事業内 容を検討・立案する。 これまでに掘り起こしたあわらしい素 材や魅力を活用した市民向けの体験ツ アー等を観光協会と連携して開催し、評 価の高いものは着地型旅行商品の候補 として提案する。 おむすびプロジェクトは効果測定のため のアンケートなどを実施して、参加店舗 にフィードバックを図るとともに事業継続 の判断材料とする。 昨年開発したブランドツールは、様々な 機会を活用して引き続き市民への浸透 を図る。
					本市の魅力度ラン キング(地域ブラン ド調査/ブランド総 合研究所)	400位	407位	-		
新幹線 まちづく り課		【駅周辺まちづくり】 ・平成35年春の北陸新幹線芦 原温泉駅開業に向け、地域ブ ランドのコンセプト「都会にはな い贅沢があるまち」を基に、駅 周辺のまちづくりを実施	・駅周辺の賑わいや交流の創出 のための機能や仕組み等の方 針を定めるまちづくりプランを策 定するため、芦原温泉駅周辺賑 わい創出協議会を設置しプラン の素案を作成(協議会3回開催、 市民・駅利用者・観光客ニーズ 調査959人、地権者等ヒアリング 25人) ・新幹線開業に向けた市民の機 運の高揚を図る市民ワークショ ップの開催(1回、51名参加)	193,000円	本市に愛着を感じ る市民の割合(市 民アンケート)	42%	35%	-		・平成30年6月を目途にまちづくりプラン を策定し、これを実現するために、ソフト・ハードの両面から事業を効果的に推 進する手法(PFI等)の検討を行う。
					本市にこれからも 住み続けたいと思 う市民の割合(市民 アンケート)	55%	46%	-		
政策課	移住定住促 進事業	・人口減少対策の一環として、 福井Uターンセンターや福井労 働局と連携し、移住希望者に 対し、住まいや就職などきめ細 やかな支援を実施することで、 移住者の獲得に努める。	・移住定住支援員(地域おこし協 力隊)を採用し、首都圏等で開催 される移住フェアへの出展。 移住専用パンフレットを作成し、 積極的に移住希望者の呼び込 みと情報提供を行った。	682,948円	Uターン者数 (福井Uターンセ ンター経由、本 市の移住施策に よる)	10人	71人	236.7%	総合戦略の KPI達成に 有効であっ た	・引き続き、地域おこし協力隊を中心とし きめ細かな相談対応を行う。 ・移住フェアについて、東京、大阪に加 え名古屋への参加を検討する。 ・移住者専用のホームページを改善し、 情報発信の一元化を行う。
	休校利活用 事業	・休校となっている波松及び吉 崎小学校について、各小学校 近隣の地域が抱える課題解決 や活性化に資する施設として の利活用を検討するとともに、 市全体の活性化に資する施設 として、その骨子となる休校利 活用計画を策定する。	・利活用検討委員会(地元協議) 開催 波松2回、吉崎3回 ・住民ヒアリング実施 波松、吉崎 各30人程度 ・まちあるきワークショップの開催	2,510,600円	観光入込客数 (市全体)	2,050,000人	1,820,000人	86.7%	総合戦略の KPI達成に 有効であっ た	・梨などの特産品を用いた加工品の開 発や地域資源を活かした新たな観光 ルートの開発について、住民参加型 のワークショップを開催して、実現可能性 を検証するとともに、休校利活用計画と して30年度中に取りまとめる。

担当課	事業名	事業内容	成果	実績額 (H30.3.31)	重要業績評価指標(KPI)	達成状況 (H30.3.31)	達成率 (H30.3.31)	外部有識者 からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針
	スモール・ビジネス支援事業	・新たに創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を助成することで、新たな需要や雇用の創出等を促し市の経済を活性化させる。また、事業を効果的に展開するため、市が民間の創業支援事業者(市内金融機関、商工会等)と連携し、ワンストップ相談窓口を設置する。	・平成29年度新規創業 150万円×4人(うち、女性2人) 462,676円×1人(女性1人) ・平成28年度からの継続(2年目)50万円×1人(高齢者1人) ・平成27年度からの継続(3年目)30万円×1人(女性1人)	7,340,648円	当該事業を通じた創業者数(支援件数)	8人	12人	100.0%	総合戦略のKPI達成に有効であった ・周知方法及び支援内容のさらなる検討を行い、また、創業後においても引き続き支援を続ける。
	求人・求職者マッチング促進事業	・職場体験(インターンシップ)の機会を創出し、求人・求職者双方の希望をかなえる雇用の実現を支援(受入企業に職場体験に要する経費を助成するとともに、県外からの求職者に交通費の一部を助成)	・受入企業:23社 ・受入人数:48人 ・雇用者数:15人	960,000円	受入企業数	40社	68社	113.3%	総合戦略のKPI達成に有効であった ・市内企業へ一層の周知を図り活用を促すとともに、地域おこし協力隊(移住定住支援員)を通じて、Uターン希望者へも案内し、制度の普及を図る。
				受入人数	100人	149人	99.3%		
				雇用者数	8人	28人	93.3%		
	Uターン就職フェア事業	・三大都市圏等で開催される就活フェア等への積極的な参加や、福井労働局や市内企業と連携した企業説明会(就職面接会)や職業相談を開催	福井労働局と連携して行う県外での就職フェア等の開催については、受入大学等の態勢が確保できず、実施されなかった。県内での合同企業説明会については、支援制度等を周知し、Uターン者の確保に努めた。	0円	Uターン者数(福井Uターンセンター経由)	8人	32人	266.7%	総合戦略のKPI達成に有効であった ・福井労働局と定期的に協議を行う等連携し、県内外での就職フェアの開催や即効性のある実施内容の検討を行う。
	あわら温泉活性化事業 (「ちはやふる」を活用した知名度向上事業(アニメ)含む)	・芸術祭など、あわら温泉の活性化を促す新規事業の創出を支援 ・『ちはやふる』を活用した知名度向上事業(アニメ)(市:委託) ・ラッピングバスお別れイベント ・市民おもてなし茶屋企画運営補助 ・アニメ声優や映画出演者に関連するメインイベント ・まちあるき企画(カードラリー) ・オリジナルグッズ、オリジナルメニュー開発支援 ・ノベルティグッズ製作 ・キャンペーン使用料(講談社、日本テレビ著作権使用料)	・湯けむり芸術祭 集客数800人 ・ちはやふるweek秋イベント 参加人数 約7500人 ・市民おもてなし茶屋来客数685名 売上337千円 ・芦湯イベント来場者 約200人 ・声優トークショー来場者 約800人 ・オリジナルグッズ 2点開発 ・チケット付き宿泊プラン販売 85名、200万	10,000,000円	観光入込客数(市全体)	2,050,000人	1,820,000人	86.7%	総合戦略のKPI達成に有効であった ・今回から「ママタイム&キッズタイム」や「シニアタイム」を設けて、幅広い世代の知名度の向上を図ったが、今後も子育て支援センターや老人ホーム等へアピールを続けることで更なる知名度の向上を図る。 ・今後は2019年にアニメ3期の放送も決定していることから、新たな視聴者、ファンの獲得が期待される。著作権者である講談社、日本テレビと連携をとりながら、あわらオリジナル声優ボイス連動まち歩きや、オリジナルスピンオフアニメ制作など、他地域とは差のつくタイアップ企画を展開し、更に多くのちはやふるファンをあわらへ誘客し、リピーターの確保に努める。
				あわら温泉宿泊客数			820,000人	85.4%	
				あわら湯けむり映画祭の集客数	2,000人	800人	80.0%		
				ちはやふる路線バスの利用者数	30,000人	-	-		

担当課	事業名	事業内容	成果	実績額 (H30.3.31)	重要業績評価指標(KPI)	達成状況 (H30.3.31)	達成率 (H30.3.31)	外部有識者 からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針
観光商工課	「ちはやふる」 を活用した知 名度向上事 業(かるた)	・末次由紀先生新規イメージビ ジュアル描き下ろし(市内の風 景を背景に書き入れたキービ ジュアルの製作費) ・全国競技かるた女流選手権 大会を活用した観光PR(全日 本かるた協会、ニコニコ動画と タイアップした動画配信での観 光PR) ・あわら市民かるた大会運営、 かるた教室運営 ・かるた認定証の作成(百人一 首を100首覚えた市民や観光 客にオリジナルイラストの入っ た認定証を授与をすることによ るかるたへの興味愛着の造 成) ・いつでもちはやふるガイドブッ クスタンプ作成(催しの有無に	・女流選手権来場者1000名 ・ニコニコ生放送視聴数71,695人 ・まちあるきキャンペーン応募者 約400名	4,500,000円	あわら市オリジ ナルちはやふる 関連グッズおよ び宿泊プランな どの総売上	9,010千円	128.7%	総合戦略の KPI達成に 有効であっ た	かるたの4大タイトル戦と言われ、華や かな袴姿で試合を行う様子が印象的な 女流選手権大会を本市に誘致すると ともに、かるた教室や市民かるた大会の 開催を継続して行なっていく。また女流 選手権大会ではインターネット中継「ニ コニコ生放送」の放送も行う。これらの施 策により、地元市民の競技かるたへの 親しみや理解を醸成するとともに、全国 や海外に「競技かるたのまち」「ちはや ふるの聖地」としての情報発信も行き、 存在感を高めていく。
	二次交通アク セス強化事 業	・北陸新幹線金沢開業に伴い、 あわら温泉と金沢駅・小松空港 を直行するバスを運行	・1日1往復、349日運行(年末年 始12/29～1/3、車検7/5～7/7は 運休、2/6～2/12大雪により臨時 運休) ・平成29年4月1日から平成30年 2月末までの平均乗車率は 52.1%であった。	11,869,344円	金沢・小松空港- あわら直行無料 バスの利用者数	5,000人	6,300人	126.0%	総合戦略の KPI達成に 有効であっ た

担当課	事業名	事業内容	成果	実績額 (H30.3.31)	重要業績評価指標(KPI)	達成状況 (H30.3.31)	達成率 (H30.3.31)	外部有識者 からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針	
	越前加賀インバウンド受け入れ体制等整備事業 【連携自治体】 勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、石川県加賀市	・ICTツールの導入により、受入施設における多言語での案内機能を強化するほか、エリアを訪れた外国人観光客の情報データを収集・分析し、マーケティングに活用するためのシステムを整備する。また、観光ガイドやコンシェルジュの外国人対応に向けた研修会の開催や、二次交通整備の運行中期計画を策定するなど、受け入れ環境の整備を行う。 ・台湾、香港、タイのメディアや旅行会社のファムツアーを開催し、また香港、タイ現地において観光PRのイベントを行うことにより、現地でエリア認知度を向上を図る。 ・越前加賀インバウンド推進機構のDMO設立に向けて、関係事業者で勉強会や先進地視察を行うなど検討・調査を行う。	【受け入れ環境整備事業】 ICTツールの導入により、受入施設における多言語での案内機能を強化したほか、エリアを訪れた外国人観光客の情報データを収集・分析し、マーケティングに活用するためのシステムを整備した。また、観光ガイド・コンシェルジュ育成研修会を開催したほか、二次交通整備の運行中期計画の策定、インフォメーション強化システムの導入を行った。 【商品開発等の広域連携強化事業】 交通拠点を活かした広域周遊プランの商品造成を行ったほか、香港・タイにセールスコールを行い、地域の魅力をPRするとともに、現地旅行会社に商品造成を促した。また、海外メディアや旅行エージェントを招聘し、地域の観光資源を紹介することで旅行商品としての可能性をPRした。 【観光ビジネスモデルの構築事業】 域内の事業者を巻き込んだ検討会を開催し、広域連携DMO設立についての検討を行った。	21,350,000円	外国人観光宿泊客数(市全体)	10,000人	11,541人	76.9%	総合戦略のKPI達成に有効であった	・外国人宿泊客数は増加しているものの、目標値に達していないことから、団体宿泊客数を増加させるため、現地旅行会社との商談会やセールスコールに宿泊施設事業者の参加を促し、契約施設の増加を図る。 ・一方で個人旅行者の比率も増加していることから、旅行フェアへの参加やインターネットによる情報発信等を継続して行うことにより、個人旅行者層に対する認知度向上を図る。
合 計				77,497,380円						

地方創生拠点整備交付金

平成30年3月28日現在

担当課	事業名	事業内容	成果	実績額 (H30.3.31)	重要業績評価指標(KPI) (H28目標値)	達成状況 (H30.3.31)	達成率 (H30.3.31)	外部有識者 からの評価	実績値を踏まえた 事業の今後の方針	
スポーツ課	地域資源を活用した魅力発信事業	・北潟湖で競技者や愛好者を中心に行われているカヌーについて、観光客などの未経験者でも気軽に体験できる環境を整備することにより、地域資源である北潟湖などの豊かな自然をあわら市の魅力として発信するとともに、レジャーや競技としてのカヌーの普及推進を図る。	・改修後の艇庫内には休憩室が新しく加わり、カヌーの選手がより北潟湖を競技の拠点として利用しやすくなった。さらにカヌー初心者もレジャーとして使いやすい環境が整った。カヌーのみならず、北潟湖の自然観察会や野鳥観察なども艇庫内の休憩室を拠点に行事を行いやすくなった。	48,934,800円	観光入込客数(市全体)	2,050,000人	1,820,000人	86.7%	総合戦略のKPI達成に有効であった	・新たな利用者を獲得するために、カヌー関連のイベントを通じて、艇庫の利便性の良さを参加者に周知をしたい。また、北潟湖に関するイベントも行いやすいことから、広報やHP等で広く周知していきたい。
					観光入込客数(北潟湖畔)	126,000人	95,818人	73.7%		
					施設使用料(収入)	-	783千円	156.6%		
合 計				48,934,800円						